

広報 な か わ だ 2024年 8月



第524号

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

2024年8月4日

<https://nakawada-catholic.com>



「聖書の勉強会に参加して」

岩淵 英介

二年前になりますが、日野神父様をお願いして聖書の勉強会を開いて頂くことになり、第1回目が2022年11月30日に開催されました。以来お忙しい中、長期にわたり継続して下さい、今年の3月第35回が開かれました。当初新約聖書の勉強かと思っておりましたが、旧約聖書1500頁を全部読んでみようという大きな目標が立てられ、その中心部分であるモーセ五書（創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記）の主要部分を読むことができました。

日野神父様は御自身のご造詣とご経験から、私共だけではとても読み取れない深いところまで多くの解説と補足、イタリア、イスラエルでのご経験なども織り込みご説明下さり、皆さん楽しく参加することができました。旧約聖書はあまり通読の機会もなかったのですが、今回ユダヤの民の苦しみと神への信頼の心を偲ぶことができ、毎週の御ミサでの第一朗読の内容がその背景情報も含め身近なものに感じられるようになったのは大きな収穫でした。また旧約聖書がユダヤ教、キリスト教はもちろん、イスラム教の聖典でもあることを知り、目から鱗の感がありました。「目には目を、歯には歯を」がイスラム教固有の教えではなく、旧約聖書に記載されていることを今更ながら知り、これまでの無知を恥じた次第です。また旧約は新約の基盤だとよく言われますが、その意味を実感できたのは大変良かったと思います。

日野神父様のご入院とご退院後のリハビリで現在この会も中断しておりますが、これまでの御指導に御礼申し上げますとともに、近いうちに聖書の勉強会が再開されますことを心待ちにしつつ、神父様の一刻も早い御快復を心よりお祈り申し上げます。

教会ごよみ(8月・9月)

	日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
8月	4	日	主日ミサ(9:00)	年間第18主日	(担当第1地区):
	15	木	祭日ミサ(10:00)	聖母の被昇天[祭]	
	11	日	主日ミサ(9:00)	年間第19主日	(担当第2地区)
	18	日	主日ミサ(9:00)	年間第20主日	(担当第3地区)
	25	日	主日ミサ(9:00)	年間第21主日	(担当第1地区)
9月	1	日	主日ミサ(9:00)	年間第22主日	(担当:第2地区)
	8	日	主日ミサ(9:00)	年間第23主日	(担当:第3地区)
	14	土			教会委員会(10:00) 入門講座(14:30)
	15	日	主日ミサ(9:00)	年間第24主日 敬老祝賀ミサ	(担当:第1地区)
	22	日	主日ミサ(9:00)	年間第25主日	(担当:第2地区)
	28	土			入門講座(14:30)
	29	日	主日ミサ(9:00)	年間第26主日	(担当:第3地区) コンサート

日野神父様退院 お祝いのセレモニー

7月21日(日)の主日ミサ後に日野神父様の退院をお祝いするセレモニーがありました。

皆様大勢の拍手の中、日野神父様が入場され、小野副委員長からのお祝いの言葉、花束贈呈、日野神父様の感謝の言葉と続きました。自立を目指して頑張っておられる神父様にエールの拍手を送りました。



「レクティオ・ディヴィナに参加して」

日時：4月17日 10:00～15:30 於：原宿教会

参加者：植栗神父様 久我神父様 戸塚教会・原宿教会・中和田教会信徒 合計17名

内容：午前 「み言葉を味わい聴く」(ヨハネ 10:11～18)

午後 「霊における対話」(シノドスの教会における識別のダイナミズム)

(テーマ)

- ① 「入信する人」を共同体に迎え入れるということは、どういう事でしょうか？
- ② それを妨げているのは何でしょうか？

午前中は、2グループに分かれてレクティオ・ディヴィナのの流れに従って、み言葉を読み味わい印象に残った句や行を聴きあい、沈黙をはさんでお祈りしました。(ヨハネ 10:11～18)です。

午後はテーマに沿って、2グループに分かれて霊における対話をしました。

(植栗神父様より)

- ・復活祭の時に入信した人と親しくなり、その人に寄り添い、帰属感を持てるようにする。信仰はだんだん作っていく。共に祈る。共にやっていく。理解されたという気持ちなど色々ある。
- ・入信者に教えてあげる気持ちより、仲間になり、支え合っていくことが大事である。

(メンバーより)

- ・一般の人向けのオープンデーはあるが、チラシを拒否されることもある。新しくなったマリア像にお祈りをしている姿も見られる。入信者に対する代父母さんの寄り添いがもっとほしい。
- ・教会で一般の方に向けたカフェを週1回開いているが、来た方の中から入信者があった。
- ・初めて興味を持って教会に入った人の半分ぐらいは入信する気持ちが少しはあるのではないか。その気持ちを育てるのも削ぐのもこちらの対応次第かもしれない。
- ・自分がキリスト教的な生き方をしている、そのことを他の人が気が付けてくれると良いと思う。現状で満足せず、思い切って行動する人が望まれる。

(まとめとして)

今日のテーマに対する解答は形としてまとめるには時間が足りませんが、この場で声を聴きあったことが、次回のきっかけにつながり、原宿、戸塚、中和田教会の連帯となるプロセスを味わえたことは大きな成果であった。

(武田幸子)

<第五地区ならびに近隣教会福祉交流会に参加して>

2024年7月13日土曜日にカトリック藤沢教会センターホールにおいて約40名弱の参加者が集い、「第五地区ならびに近隣教会福祉交流会」が行われました。

まずは、我々中和田教会にもいらっしゃってミサを捧げてくださっている、カトリック戸塚教会、主任司祭の田丸篤神父様よりご挨拶と「あなたはイエス・キリストに繋がっていますか？」というタイトルで講話をいただきました。そのお話の中で、高齢化、あるいは教会に来られなくなっている人について触れられていました。教会に行き、ミサにあずかっている間はイエス様と繋がっていると感じられる。教会に来られなくなっても教会から送られてくる広報紙を受け取り、イエス様とのつながりを感じていただくこともできているであろう。私たちは普段の生活の中で「イエス様！とどれだけ繋がりを意識しながら生活できていますか？」そのような問いかけがありました。



そして田丸神父様のお話を受けて、参加者は5～6人のグループに分かれて分かち合い（グループディスカッション）を、途中メンバーを変えて2回行いました。私が入った1回目のグループでは、自己紹介をしながら各々が所属している教会のことも紹介しようということで話を始めましたが、皆さん伝えたいこと、尋ねたいことがたくさんあり沈黙する間など全くなく、活発に話し合いが進んでいきました。2回目のグループでは前のグループで一緒だったメンバーが3人もそろってしまいましたが、さらに異なる切り口での話ができました。どのグループでも共通して出てきた話題は「教会に来られない（来ない）人について」でした。教会に来られない人に広報紙を送ることはどの教会も取り組んでいましたが、発送の際、手書きのメッセージを添える。あるいは文字を読むのがお体的に困難な人には教会の四季を伝えられる写真を送るという工夫をしている教会もありました。お便りを受け取った方はきっと教会と、イエス様と繋がっていると感じていただけているものだと思います。しかし、どの教会も高齢化と信徒の減少は避けられないでしょう。今後、各教会の良い取り組みが継続できるように工夫していかななくてはならず、繋がりをどのようにして維持・継続していくのかはこれからの課題になるのではないかと思います。

一方で、先の田丸神父様のお話の中で、「ミサに来てニコニコしている人がいない」というお話がありました。「教会に所属しているけれど、イエス様に所属できていない。まじめに教会に通っているけれど、なんとなくミサにあずかり、なんとなく帰るといふようになっている人がいるのではないか」ということでした。これは、イエス様と繋がっていると言えるのかどうか？という疑問を投げかけられているようにも感じられました。もちろん、繋がっているかどうか、それは外から見ただけでは分かりません。それに教会に行けばそこで「元気？」「最近どうしている？」「色々大変だね」と笑顔で会話をしている場面も見られます。いずれにせよ大切なのは、どのような手段であれ人と交わり互いに励まし合い、教会の信徒との繋がりを感ずることと同時に、救いや安心、そしてイエス様と繋がっていることも感じながら生活していくことが私たちには求められているのではないかと改めて考えさせられた有意義な交流会でした。

(森田 和美)

委員会便り 教会委員会議事録

いよいよ夏本番です。今年の夏は例年より暑くなるそうです。お互い、熱中症に気を付けながら健康な生活を送りましょう。

7月13日午前10時より、ホワイエで行われた委員会の報告をいたします。



【1】 初めの祈り

【2】 典礼委員会報告

- 神父様の入院に伴い、今までは田丸神父様中心に、神父様方が自主的に主日ミサを司式してくださっていました。今後は、司教様のお声掛けで、第5地区の神父様が持ち回りで主日ミサを司式してくださることとなりました。神父様方のご厚意に感謝申し上げます。
- 8月以降の主日ミサ予定

8月：8/4 久我神父様、8/11 林神父様
(鍛冶ヶ谷)、8/18 キジト神父様、
8/25 集会祭儀、
9月：9/1 マルコ神父様、9/8 ブランチフ
ィール神父様、9/15 河野神父様、
9/22 集会祭儀、9/29 林神父様

- 典礼関連の研修
柳下さんが典礼奉仕者養成コース、大沼さんが傾聴奉仕者養成基礎コースに参加されました。
- 2024年平和旬間・祈りのリレー
今年度の平和旬間は8/6～8/15です。その間、例年同様に原宿教会、聖母の園修道院とともに「祈りのリレー」を行います。この10日間は、世界の平和を願う皆様の祈りで埋め尽くされるようにご協力をお願いいたします。ルールや参加方法は典礼部にご確認ください。
- 主日ミサについて
答唱を歌える方が少ないので、地区に捉われずをお願いしたいと思います。
また、全般的に典礼奉仕の方が限定的

になっています。是非、幅広くご協力の程よろしく願いいたします。

- 日野神父様退院セレモニーについて
7月21日主日ミサ後に日野神父様退院のお祝いのセレモニーを行いました。花束贈呈と神父様のご挨拶をいただきました。元気なお姿を拝見できて参加者一同安心しました。神父様のご回復を心よりお祈りいたします。

【3】 6月度財務報告

一般会計、建設会計、愛の献金会計の報告がありました。

【4】 その他報告

- 第5地区サマーキャンプ
について



8月1日～3日に横浜聖光学院の寮で第5地区サマーキャンプが行われます。要理指導は田丸神父様が担当。

- バザーについて

今年度のバザーは昨年度並みで10月27日に行います。皆様のご協力をお願いいたします。

- コンサート開催について

- ・ 9/29 (日) 10時半より
「フルートアンサンブルによるコンサート」
- ・ 12/15 (日) 10時半より
「ギターアンサンブルによるコンサート」

【5】 終わりの祈り

6月20日に神父様が退院されました。入院中の司祭館の片づけや環境整備、各関係機関との対応、退院後も通院や生活支援等、多くの方が携わっていただきました。皆様に感謝申し上げます。そういった中、ご厚意で携わってくださる方に負担が集中していることも事実です。退院はゴールでなく、司祭館での神父様の生活のスタートです。いわゆる現役世代も傍観者にならずに、できることで関わっていただけたらと思います。
よろしく願いいたします。



(文責 森脇)